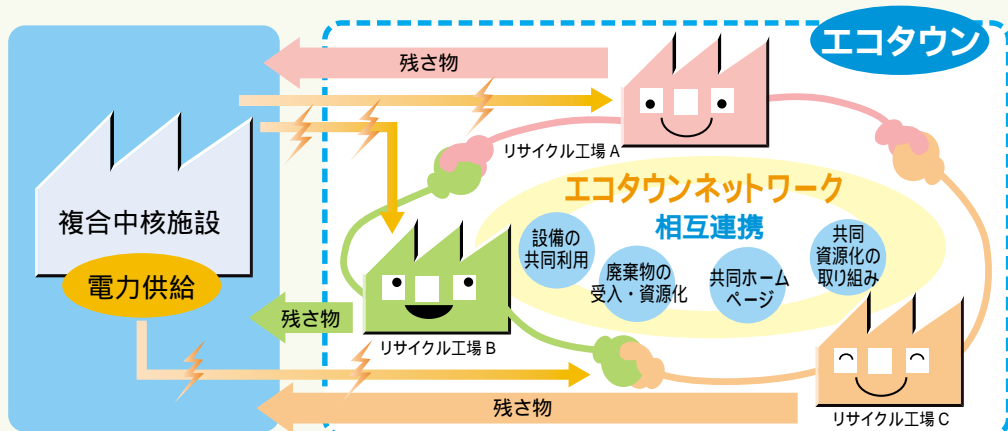
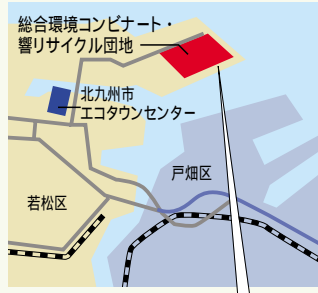


北九州エコタウンで国内初のゼロエミッション化を実現



お問い合わせ先
環境・水ソリューション事業部
TEL.03-3275-6070



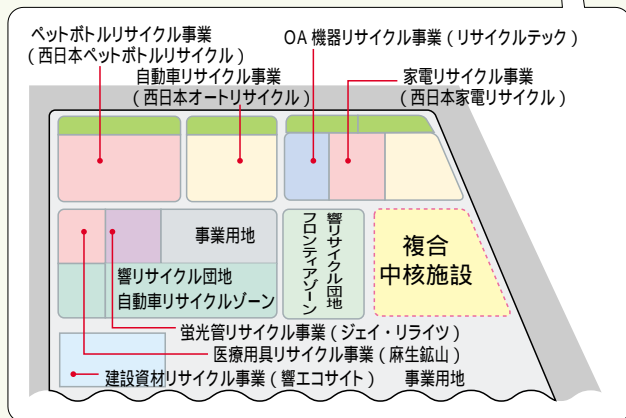
立地企業との相互連携を高め、さらなるゼロエミッション化を進める

出典：「北九州市エコタウン事業 第2期計画の概要」

新日鉄八幡製鉄所および環境・水ソリューションセンターは、北九州エコタウンにおいて国内初のゼロエミッション型リサイクル産業団地を目指す事業化に参画している。これは、新日鉄の循環型社会構築への取り組みの一環で、計画当初から参画してきた北九州エコタウンにおいて、北九州エコエナジー(株)を増資し複合中核施設を建設するもので、平成17年の稼働開始を目標とするものだ。

複合中核施設事業の概要は次の通り。

- 新日鉄方式のガス化溶融設備と高効率廃棄物ボイラー発電設備を組み合わせた施設建設
- 溶融設備で熱分解された可燃物の電力利用（エコタウン内立地企業への電力供給）および不燃成分の資源化（溶融設備で高温溶融して金属・スラグとして再利用）・販売
- 産業廃棄物（エコタウン内で立地企業がリサイクルした後の残さ・自動車のシュレッダーダスト中心）などの適正処理



北九州エコタウン総合環境コンビナート域内に建設予定

新日鉄方式のガス化溶融炉で徹底的にリサイクル

新日鉄方式のガス化溶融設備で、従来埋立て・単純焼却処理されていた廃棄物を以下のように再利用する。
プラスチックなどの可燃成分は、高効率発電設備の燃料ガスに利用
金属・灰分・土砂などの不燃成分を金属資材、建設資材として使用

廃棄物利用の新エネルギー施設として大臣認定

「新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法」に基づく大臣認定を取得
資源エネルギー庁「新エネルギー事業者支援対策事業」による補助金交付が決定
発電電力(原油換算24k 相当/年間発電量)は、エコタウン内立地企業の約20社へ供給

自動車シュレッダーダストを適正処理・リサイクル

リサイクルが難しく埋め立て処分されてきた廃自動車解体時に発生するシュレッダーダストを、エネルギー、金属およびスラグとして資源化・リサイクルする。廃自動車のリサイクルを進める自動車リサイクル法(平成16年施行予定)にも対応し、国や自動車メーカーからも適正な処理が可能な施設として整備が期待されている。

新事業会社の概要

社名 北九州エコエナジー株式会社
設立 平成14年8月21日
資本金 H15年1月末 第1回増資後 3億円
H15年度内 第2回増資後 12億円
第2回増資後の出資構成
新日本製鉄株34% 三井物産株23% 九州電力株20%
山九株9% 太平工業株9% 日鐵運輸株5%

今後の予定 平成15年6月 : 施設建設工事着工
平成17年2月末 : 施設建設工事竣工
3月 : 稼働開始